

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校静岡医療秘書学院
設置者名	学校法人長嶋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://iryouhisyo.ac.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	教員	R5. 8. 5～R9. 8. 4	経営計画の策定
非常勤	会社社長	R5. 8. 5～R9. 8. 4	
非常勤	会社社長	R5. 8. 5～R9. 8. 4	
非常勤	会社社長	R5. 8. 5～R9. 8. 4	
非常勤	会社社長	R5. 8. 1～R9. 8. 4	
非常勤	パート	R5. 8. 5～R9. 8. 4	
非常勤	無職	R5. 8. 5～R9. 8. 4	
(備考)			

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校静岡医療秘書学院
設置者名	学校法人長嶋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	医療秘書科	夜・通信	405	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://iryoushisyo.ac.jp">https://iryoushisyo.ac.jp</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校静岡医療秘書学院学校
設置者名	学校法人長嶋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>教育課程及び授業日数は静岡県医師会の指導のもとに日本医師会認定医療秘書要綱に準拠している。前・後期制を導入し、授業時間は1コマ50分で実施。前期末と後期末の試験、実習の成果、平常点等を総合的に勘案した成績評価である。到達目標としては、医療現場で即戦力となり地域へ貢献できるよう医学知識の習得とコミュニケーション能力の向上に努めている。それに伴い、2年時に実施される全国医師会医療秘書学院連絡協議会主催の医療保険請求事務実技試験(10月下旬)と日本医師会主催の医療秘書認定試験(2月上旬)の資格取得。その他商業実務における各種検定への取得にも力を入れている。</p> <p>授業計画書の作成時期3月、公表時期6月を予定している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価は、百点法(素点法)による四段階への換算(優・良・可・不可)で行う絶対評価である。試験については前期末・後期末の試験を実施し、前期末試験での不可の学生には補修やレポート提出など救済処置を行う。学年末の試験での不可の学生には補修後、再試験を実施し単位修得へと考慮している。</p> <p>授業での専門教科の一部は、現役ドクター・薬剤師・看護師等が講師を務めているので、実際の現場の様子や医療事務または医療秘書としての心構え、仕事内容などを取り入れて展開しており、学生達は将来を見据え、希望を抱きながら真剣に授業を聞き入っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の学年評価は、前期・後期の相互平均を原則とする。また、60未満の科目については、不定期に再試験を行い、合格した時点で60とする。 第1年次に4科目以下の未修得の科目を有する学生は仮進級とする。 成績評価は、百点法(素点法)による四段階への換算(優・良・可・不可)で行う絶対評価である。</p> <p>「優」・・・100 ～ 80 「良」・・・79 ～ 70 「可」・・・69 ～ 60 「不可」・・・59 ～ 0</p> <p>分布については、百点法表示のままHPに公開する</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a> 「教務規程」により公開
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業に関する条件としては、全科目を履修していること。未修得の科目については、不定期に再試験(レポート含む)を行い修得する。また、不履修の科目がある学生又は未修得の科目が5科目以上で、修得の見込みが困難と認められる学生は留年とする。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a> 「教務規程」により公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校静岡医療秘書学院学校
設置者名	学校法人長嶋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>
財産目録	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>
事業報告書	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療秘書科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間	330 単位時間	1,170 単位時間	180 単位時間	単位時間 /単位	60 単位時間
	夜		1,740 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		62人	0人	3人	18人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）（概要）教育基本法に精神に測り、学校教育法に従い、医療秘書業務に関する知識と技能をもった医療秘書を養成することを目的としている。また、教育課程及び授業日数は静岡県医師会の指導のもとに日本医師会認定医療秘書要綱に準拠し年間計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要）前後期制を導入し、授業時間は1コマ50分で実施。前期末と後期末の試験、実習の成果、平常点等を総合的に勘案している。成績評価は、百点法（素点法）による四段階への換算（優・良・可・不可）で行う絶対評価である。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業に関する条件としては、全科目を修得していること。また、不履修の科目がある学生又は未修得の科目が5科目以上で、修得の見込みが困難と認められる学生は留年とする。
学修支援等
（概要）教科によっては習熟度別に教員を配置し効率の良い授業を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）											
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他								
27人 (100%)	0人 ( 0 %)	26人 ( 96.3%)	1人 ( 3.7%)								
(主な就職、業界等) <b>病院、医院・クリニックなど</b>											
(就職指導内容) <b>1年時の病院見学後（医療クラーク）、2年時3週間の病・医院実習を経て、医療事務又は医療秘書（クラーク）の職種を選択し、医療機関を決定する。</b>											
(主な学修成果（資格・検定等）) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>全医秘協医療保険請求事務実技試験</td> <td>27名中</td> <td>27名合格</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本医師会医療秘書認定試験</td> <td>27名中</td> <td>23名合格</td> <td></td> </tr> </table>				全医秘協医療保険請求事務実技試験	27名中	27名合格		日本医師会医療秘書認定試験	27名中	23名合格	
全医秘協医療保険請求事務実技試験	27名中	27名合格									
日本医師会医療秘書認定試験	27名中	23名合格									
(備考)（任意記載事項）											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書科	200,000 円	550,000 円	320,000 円	施設設備費・実験実習費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
優待生減免制度あり				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p><b>【基本方針】</b> 「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行う</p> <p><b>【主な評価項目】</b> 教育活動や進路指導・施設など</p> <p><b>【評価委員会の構成】</b> 医療関係者1名以上、関連団体1名以上、地域住民1名以上、卒業生1名以上 保護者1名以上</p> <p><b>【評価について】</b> ・評価委員会において自己評価や学校の改善策に対しての意見を求め評価を実施する ・評価結果を参考に、教頭を筆頭に職員全員で改善策や改善時期を考え継続的に実施するよう努める</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
浅羽医院	R6.4.1~R7.3.31	医療関係者
大岩内科医院	R6.4.1~R7.3.31	医療関係者
静岡県医師会事務局	R6.4.1~R7.3.31	関連団体
静岡県医師会事務局	R6.4.1~R7.3.31	関連団体
町内会	R6.4.1~R7.3.31	地域住民
町内会	R6.4.1~R7.3.31	地域住民
卒業生	R6.4.1~R7.3.31	卒業生
卒業生	R6.4.1~R7.3.31	卒業生
在校生保護者	R6.4.1~R7.3.31	保護者
在校生保護者	R6.4.1~R7.3.31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://iryouhisyo.ac.jp">https://iryouhisyo.ac.jp</a>
--